

J R北海道特急・快速列車の編成表
(2007年2月25日現在：車いす対応座席を設置している列車を中心に)

©作成・半沢一宣

！営利目的での無断転載を禁じます。学術研究など非営利目的で使用される場合でも、事前に作成者までご連絡ください。

* 季節や時間帯によって、指定席の一部が自由席に（またはその逆に）変更になる列車があります。

* 乗り込み調査データ欄の車両番号などは、原則として車いす対応座席付き車両のものを記しました。

参考資料 『鉄道ジャーナル』月刊、鉄道ジャーナル社
『J R電車編成表 '05冬号』ジェー・アール・アール

記号の説明

号車番号欄 細字 = 禁煙車、**ゴシック体** = 喫煙車、**斜字** = 受動喫煙車（下記注を参照）
* 印 = 増結車（連結しない列車があります）
車内設備欄 指 = 指定席、自 = 自由席、グ = グリーン車、展 = 展望席、定 = 定員制
個 = 個室（セミコンパートメント等を含む）、S = 旧・喫煙コーナーの跡
H = 車いす対応座席、h = 車いすスペース、M = 多目的室
B = 車いす対応トイレ（ベビーベッド（おむつ交換台）有）
W = 車いす対応トイレ（ベビーベッド無）
b = 車いす非対応トイレ（ベビーベッド有）
w = 車いす非対応トイレ（ベビーベッド無）
P = テレホンカード式公衆電話（車いす対応）
p = テレホンカード式公衆電話（車いす非対応）
V = 飲料自動販売機（車いす対応）、v = 飲料自動販売機（車いす非対応）
K = 売店、k = 車内販売準備室、C = 車掌室

注：「受動喫煙車」

喫煙車に隣接した禁煙車のこと。隣接する喫煙車から流入するたばこ煙によって、両側を禁煙車に挟まれた禁煙車両と比べて著しく高い、環境基準をオーバーする高濃度の粉じんが営業列車での測定調査において検出されていることから、受動喫煙を防止できていない車両であると考えられます。この調査を2004年秋に実施した、産業医科大学（福岡県北九州市）産業生態科学研究所の大和浩教授が、仮に命名したものです。

なお本表では、デッキなどに喫煙コーナー（名称は会社により異なります）が設置されている禁煙車の客室内においても、程度の差はあれ同様の問題が発生している可能性が考えられることから、これに該当する車両も受動喫煙車と同様に**斜字**で示しました。

* J R北海道は2006年3月18日に道内相互発着のすべての特急列車を全車禁煙車としていますが、それ以前の受動喫煙発生状況も把握できるよう、喫煙コーナー跡の場所（現在は廃止・禁煙）も表に示しました。

スーパー宗谷 (キハ261系)

- * 通常は 号車の予備車両を増結した6両編成(下表の編成)で運転されますが、代わりに 号車の予備車両を増結する場合があります。
- * 号車の洗面所(個室構造)におむつ交換台があります。
- * 号車に設置されていた喫煙コーナーは灰皿が封鎖されただけで、改装は行われていません。
- * 号車の1A席(宗谷本線内で東側)が車いす対応座席です。号車の同じ番号の席も車いす対応座席ですが、自由席のため利用できない場合があります。

乗り込み調査実施記録 2007年2月25日(日曜日)

札幌8時30分発「スーパー宗谷1号」

車両番号・ 号車 = キハ260 - 102号車(1999年・富士重工製)

稚内				札幌			
				*	*		
グ	kS	指	w指p	S指HB	指	S自HB	自

サロベツ (キハ183系)

- * 号車の12番AB席と 号車(増結時は札幌方先頭車)の17番AB席はパノラマ席です(運転室越しに前面が展望できます)。
- * 号車に設置されていた喫煙コーナーは、荷物置場に改装されています。

乗り込み調査実施記録 2007年2月25日(日曜日)

札幌12時20分発「サロベツ号」

車両番号・ 号車 = キハ183 - 1503号車(1986年・富士重工製。2000年にJ R北海道苗穂工場でトイレ・喫煙コーナー設置などのリニューアル改造を実施)

稚内			札幌	
			*	*
指Svw	指w	w指	w自	自

オホーツク (キハ183系)

- * 遠軽～網走間は逆向き(遠軽方が 号車、札幌・網走方が 号車)。
- * 号車に設置されていた喫煙コーナーは、荷物置場に改装されています。

乗り込み調査実施記録 2007年2月25日(日曜日)

札幌7時21分発「オホーツク1号」

車両番号・ 号車 = キハ182 - 6(製造・改造年およびメーカー名などは失念)

遠軽				網走・札幌			
	*増	*増21	*増22				
自k	自w	指w	指w	指w	指	pCS	グw
							k指

2007年2月25日(日曜日)札幌6時30分着

「オホーツク82号」(臨時夜行特急)の編成

- * 号車の一部と 号車の普通席は女性専用席です(下表では「レ」と表示)。

遠軽			網走・札幌				
	増						
自k	自w	指w	B寝台レ	指レ	pCS	グw	k指

スーパーおおぞら (キハ283系)

- * 繁忙期には最大11両編成で運転されます。増結車(~ 号車)の車種・設備は列車により異なります。下表では調査列車での例を記しました。
- * 3号車に設置されていた喫煙コーナーは灰皿が封鎖されただけで、改装は行われていません。
- * 号車の1A席(根室本線内で太平洋側)が車いす対応座席です。

多目的室は、同じく釧路湿原側です。

乗り込み調査実施記録 2007年2月25日(日曜日)

札幌9時04分発「スーパーおおぞら3号」(10両編成)

車両番号・号車 = キハ282 - 4号車(製造年・メーカー名は失念)

釧路

札幌

						*	*	*	*
指b	指Sk	pkグCSb	指HMB	指	b指	指	指	自HMB	b自

スーパーとかち (キハ283系)

- * 基本5両編成は「スーパーおおぞら」の号車と共通です。
- 増結車の車種・設備は列車により異なります。

帯広

札幌

						*	*	*
指b	pkグCSB	指HMB	指	b指	指	指	自	b自

とかち (キハ183系)

- * 号車はハイデッカーグリーン車で運転される場合があります。
- * 号車に設置されていた喫煙コーナーは、荷物置場に改装されています。
- * 号車(増結時は札幌方先頭車)の17番AB席はパノラマ席です(運転室越しに前面が展望できます)。

乗り込み調査実施記録 2007年2月25日(日曜日)

札幌10時16分発「とかち3号」

車両番号・号車 = キロ182 - 507号車(製造年・メーカー名は失念)

帯広

札幌

						*	*
指k	指w	KSpCグw	指w	指w	指w	自w	自

まりも (キハ183系)

- * 号車の車両は「とかち」の号車(増結時は号車と札幌方の2両)と共通です。
- * 号車の車両(B寝台)は「はまなす」の号車と共通です。
- * 号車の一部は女性専用席です(下表では「レ」と表示)。

釧路

札幌

指k	w B寝台レ	Cv B寝台w	指レw	自

(2007年2月25日現在：車いす対応座席を設置している列車を中心に)

スーパーホワイトアロー～エアポート(785系、エアポートは快速列車)

* 札幌～新千歳空港間は逆向き(新千歳空港方が 号車、札幌方が 号車)。

* 号車の1A席(函館本線内で石狩川側)が車いす対応座席です。

また、号車の1A席(同じく石狩川側)と1D席(同じく夕張山地側)も車いす対応座席ですが、自由席のため利用できない場合があります(車いす優先席として運用)。

* 号車のトイレ付近には洗面所はありません。

乗り込み調査実施記録 2007年2月26日(月曜日)

新千歳空港20時19分発「エアポート203号～スーパーホワイトアロー29号」
(NE4編成)

車両番号・ 号車=モハ784-504号車(2001年・日立製)

号車=クハ785-4

(1990年・日立製。2003年・JR北海道苗穂工場にて改造)

旭川・新千歳空港 札幌

自	b自pv	自	BH指C	b自

ライラック、すずらん(781系)

* 「ライラック」は2007年10月に「スーパー白鳥」と同じ789系電車に取り替えられる予定です。

乗り込み調査実施記録 2007年2月25日(日曜日)

札幌12時30分発「ライラック9号」(L1編成)

車両番号・ 号車=クモハ781-1号車(1980年製、メーカー名は失念)

旭川 (ライラック) 札幌

室蘭 (すずらん) 札幌

自w	自v	自Cpw	自指

エアポート(721系、快速列車)

* 札幌～小樽間では全車自由席の普通列車として運転される列車があります。

また、新千歳空港～札幌間の普通列車としても運転されます。

* 号車の1A席(千歳線内で夕張山地側)が車いす対応座席です。

号車の車いすスペースは、千歳線内で支笏湖側です。

乗り込み調査実施記録 2007年2月25日(日曜日)

札幌6時34分発「エアポート60号」(F4103+F4203編成)

車両番号・ 号車=サハ721-4103号車(2003年・川崎重工製)

新千歳空港

札幌・小樽

自w	自	自hB	CH指	自	h自

(2 0 0 7 年 2 月 2 5 日 現 在 : 車 い す 対 応 座 席 を 設 置 し て い る 列 車 を 中 心 に)

スーパー北斗2・7・16・21号(キハ283系)

* 号車に設置されていた喫煙コーナーは灰皿が封鎖されただけで、改装は行われていません。

* 号車の1A席(室蘭本線内で山側)が車いす対応座席です。
多目的室は、同じく海側です。

* 下表から 号車を抜いた7両が基本編成です(調査列車の 号車は増結車)。また「スーパー北斗」の基本7両編成のうち 号車(調査列車の 号車)は「スーパーおおぞら」の基本6両編成と共通です。

乗り込み調査実施記録 2007年2月25日(日曜日)

札幌7時00分発「スーパー北斗2号」

車両番号・キハ282-3号車(製造年・メーカー名は失念)

函館							札幌
							*
指b	指Sk	pkグCSb	指S	指HMB	指	自S	b自

スーパー北斗1・3・6・9・10・12・13・17・18・22号(キハ281系)

* 下表から増 号車と 号車を抜いた7両が基本編成です(調査列車の 号車は増結車)。

* 号車に設置されていた喫煙コーナーは灰皿が封鎖されただけで、改装は行われていません。

* 号車の1A席(室蘭本線内で山側)が車いす対応座席です。
多目的室は、同じく海側です。

乗り込み調査実施記録 2007年2月25日(日曜日)

札幌10時37分発「スーパー北斗10号」

車両番号・ 号車 = キハ280-4号車(製造年・メーカー名は失念)

函館								札幌
			* 増					*
指w	指k	kSグCw	kSグCw	指	指HMB	指HMB	自	w自

北斗4・5・8・11・14・15・19・20号(キハ183系)

* 下表から 号車を抜いた5両が基本編成です(調査列車の 号車は増結車)。

* 4・15号以外の6本(130km/h運転列車)にはお座敷車が増結される場合があります。

* 号車と 号車(増結時は札幌方先頭車)の、いずれも17番AB席はパノラマ席です(運転室越しに前面が展望できます)。

* 号車はハイデッカーグリーン車で、旧・喫煙コーナーは荷物置場に改装されています。

乗り込み調査実施記録 2007年2月25日(日曜日)

札幌10時37分発「北斗8号」

車両番号・ 号車 = キロ182-2501号車(製造年・メーカー名は失念)

函館					札幌		
					*	*	*
指	指w	kCSグpw	指w	指w	指w	自w	自

(2 0 0 7 年 2 月 2 5 日 現 在 : 車 い す 対 応 座 席 を 設 置 し て い る 列 車 を 中 心 に)

はまなす (1 4 系、急行列車)

* 青森～函館間は逆向き (函館方が 号車、青森・札幌方が 号車)。

* 号車はカーペットカーです。

* 号車には女性専用席があります (下表では「レ」と表示)。

乗り込み調査実施記録 2 0 0 7 年 2 月 2 5 日 (日曜日)

青森 2 2 時 4 5 分 発 「 はまなす号 」

函館			青森・札幌			
CB 寝台w	wB 寝台レ	Cv 自w	wカレ	wラ指レ	wラ指	w自vC

スーパー白鳥、つがる 6 号 (7 8 9 系)

* 青森～八戸間は逆向き (函館・八戸・弘前方が 号車、青森方が または 号車)。

* 号車の 1 A 席 (東北本線内で陸奥湾側) および 1 D 席 (同じく八甲田山側) が車いす対応座席です。

多目的室は、同じく八甲田山側です。

* 号車ではグリーン席と普通席との間に仕切り壁があるため、普通席でのみ受動喫煙が発生していると考えられます。

* 竜飛海底駅と吉岡海底駅 (海底駅見学者のみ乗降可) では乗降口が 2 号車に限定されるため、乗降時に受動喫煙を強要されることになります。

* 2 0 0 7 年 3 月 1 8 日 から 全 車 禁 煙 車 に な る 予 定 で す 。

乗り込み調査実施記録 2 0 0 7 年 2 月 2 7 日 (火曜日)

八戸 8 時 5 2 分 発 「 スーパー白鳥 9 5 号 」 (HE 1 0 4 + HE 2 0 4 編成)

車両番号・ 号車 = クロハ 7 8 9 - 1 0 4 (2 0 0 2 年 ・ 川崎重工製)

函館・八戸

(スーパー白鳥)

青森

八戸・弘前

(つがる)

青森

						*	*
グ	指HmkB	S自C	自	bp指	指	b指	指

(2 0 0 7 年 2 月 2 5 日 現 在 : 車 い す 対 応 座 席 を 設 置 し て い る 列 車 を 中 心 に)

流氷特急オホーツクの風 (キハ183系「ノースレインボーエクスプレス」車両)

* 冬季運転の臨時列車で、春には奥羽本線弘前行き「さくらエクスプレス」としても運転されます。

* 遠軽～網走間は逆向き (遠軽方が 号車、札幌・網走方が 号車)

* 号車と 号車はパノラマ構造です (運転室越しに前面が展望できます)

* 3号車は2階建て車両で、1階はラウンジです。

乗り込み調査実施記録 2007年2月25日 (日曜日)

札幌8時04分発「流氷特急オホーツクの風」

車両番号は失念 (1992年・JR北海道苗穂工場にて改造)

遠軽

札幌・網走

指w	指	wp	指 ラK	C	k自	w指

トマムサホロスキーエクスプレス (キハ183系「クリスタルエクスプレス」車両)

* 冬季運転の臨時列車で、初夏には富良野線富良野行き「フラノラベンダーエクスプレス」としても運転されます。

* 3号車は2階建て車両で、1階は普通個室 (4人用×3室) です。

また、売店は営業を休止しています。

乗り込み調査実施記録 2007年2月25日 (日曜日)

札幌11時05分発「トマムサホロスキーエクスプレス」

車両番号は失念 (1989年・JR北海道苗穂工場にて改造)

新得

札幌

展指w	Cpv指	自ラ 指	K	w指展

ニセコスキーエクスプレス (キハ183系「ニセコエクスプレス」車両)

* 冬季運転の臨時列車で、春には日高本線様似行き「優駿浪漫」としても運転されます。

* 号車と 号車はパノラマ構造です (運転室越しに前面が展望できます)

乗り込み調査実施記録 2007年2月25日 (日曜日)

札幌8時05分発「ニセコスキーエクスプレス2号」

車両番号は失念 (1988年・JR北海道苗穂工場にて改造)

札幌

ニセコ

指w	vp指	w自

以上